



FT2232C 評価ボード
USB-008
ユーザーズマニュアル
第3版 (A)

ヒューマンデータ

目次

はじめに.....	1
ご注意	1
1. 製品の内容について.....	2
2. 各部の名称.....	3
3. ジャンパ設定表.....	4
4. ドライバのインストール方法.....	5
5. ドライバのアンインストール.....	10
6. 参考資料について.....	11
7. 付属資料.....	11

はじめに

この度は、USB-008 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

どうぞご活用ください。

ご注意

1. 本書の内容は、改良のため将来予告なしに変更することがありますので、ご了承願います。
2. 本書の内容については万全の記して作成しましたが、万一誤りなど、お気づきの点がございましたら、ご連絡をお願いいたします。
3. 本製品の運用の結果につきましては、2. 項にかかわらず当社は責任を負いかねますので、ご了承願います。
4. 本書に記載されている使用と異なる使用をされ、あるいは本書に記載されていない使用をされた場合の結果については、当社は責任を負いません。
5. 本書および、回路図、サンプル回路などを無断で複写、引用、配布することはお断りいたします。

1. 製品の内容について

本パッケージには、以下のものが含まれています。万一、不足などがございましたら、弊社宛にご連絡ください。
マニュアルは共通になっています、お買い上げのモデルの欄をご確認ください。

USB-008

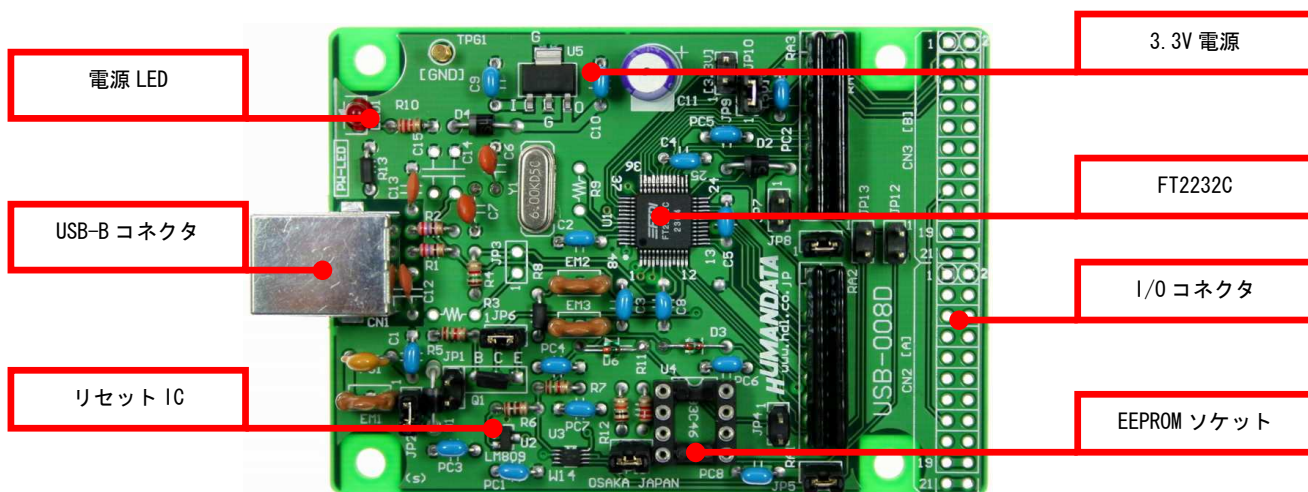
USB-008 本体	1
USB ケーブル	1
ドライバディスク (CD)	1
ブランク EPROM (AT93C46)	1
マニュアル (本書)	1
ユーザー登録はがき	1

USB-008 は、FTDI 社の USB チップである、FT2232C の評価ボードです。

FT2232C の使用方法は、弊社 Web にもできるだけ公開いたしますが、基本的には、FTDI 社のデータシートや Web をよく
ごらんの上ご活用いただきますようお願いいたします。

弊社のサポートは弊社製品の固有のことがらのみが基本となっています。

2. 各部の名称



3. ジャンパ設定表

詳細は回路図やデータシートをご参照ください。

ジャンパ	機能	出荷時	備考
JP6	FT2232C のリセット出力で 1.5K プルアップ	ショート	いずれか一方のみ ショート
JP1	USB 接続で 1.5K プルアップ 通常オフ (USB-008B 基板バグにより、1PIN 側がオープンです。半田付けにより、JP1 の 1 ピンから JP2 の 1 ピンと接続を御願います)	オープン	
JP2	電源供給を USB バスから	オープン	
JP3	オプション	不実装	
JP4	CN2 の 19、20 から 5V を供給	オープン	
JP5	CN2 の 21、22 と VCC10 を接続	ショート	
JP6	FT2232C のリセット出力で 1.5K プルアップ	ショート	
JP7	CN1 の 19、20 から 5V を供給	オープン	
JP8	CN1 の 21、22 と VCC10 を接続	ショート	
JP9	オンボードの 3.3V レギュレータから VCC10 を供給	オープン	いずれか一方のみ ショート
JP10	VCC10 を 5V から供給	ショート	
JP11	EEPROM 切り離し用	オープン	EPROM を実装していても 無効にできます
JP12	CN3 の 17 に負論理リセットを出力	オープン	いずれか一方のみ ショート可
JP13	CN3 の 17 に正論理リセットを出力	オープン	

4. ドライバのインストール方法

Windows2000 を例に説明いたします。

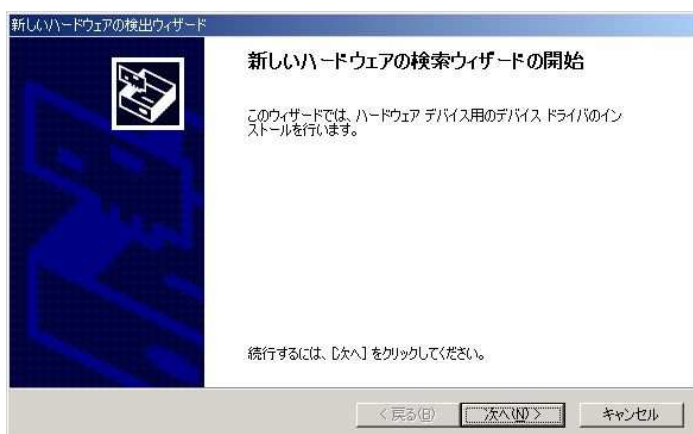
付属の CD か、FTDI 社よりダウンロードしたドライバを用いてドライバのインストールをおこないます。

(他の OS は下記を参考に同様の操作を御願いたします。)

PC に USB-008 を挿入します。(USB-008 への電源供給が必要)

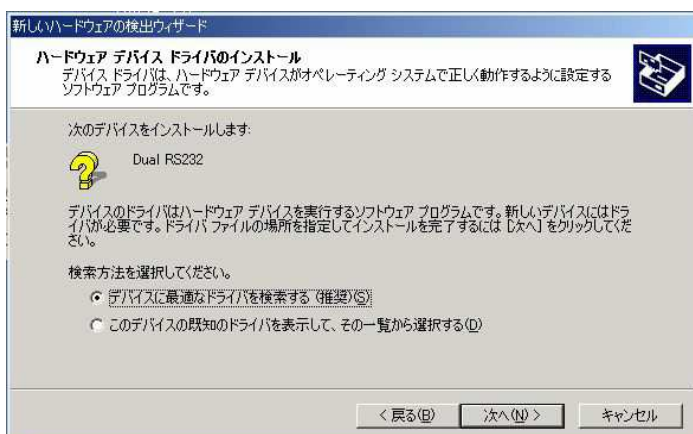


新しいハードウェアが見つかりましたと表示された後、ダイアログが開きます。



次へ (N) > をクリックします。

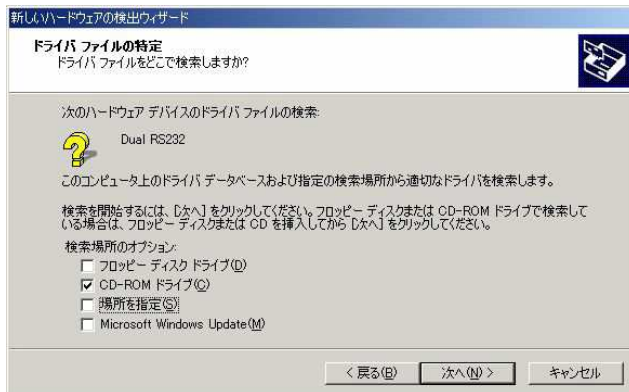
次のように表示されましたら、デバイスに最適なドライバを検索する (推奨) (S) を選択し、次へをクリックします。



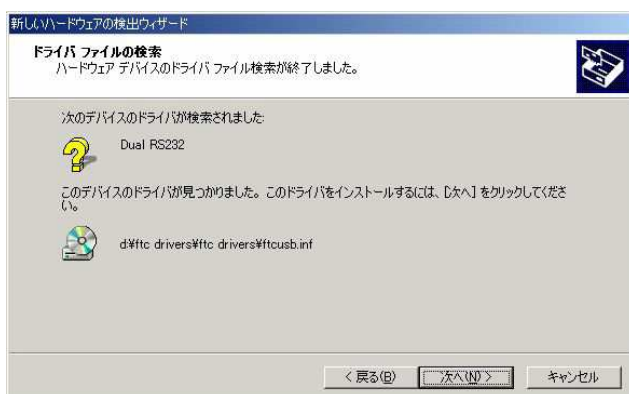
次へ (N) > をクリックします。

次のように表示されましたら、CD-ROM ドライブを選択します。

(新しいドライバをダウンロードしたときは、ダウンロードして展開した場所を指定してください)

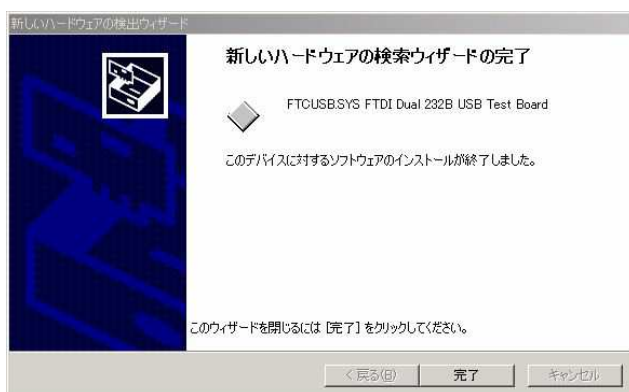


次へ (N) > をクリックします。

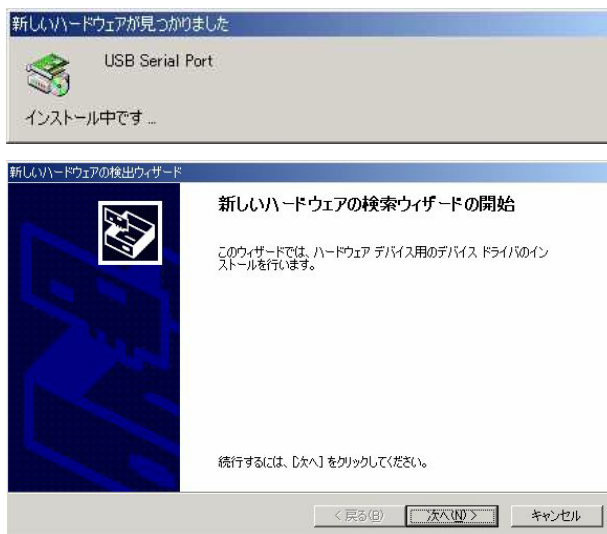


次へ (N) > をクリックします。

次のように表示され、1 つ目のドライバの組み込みが完了します。(まだ続きます)

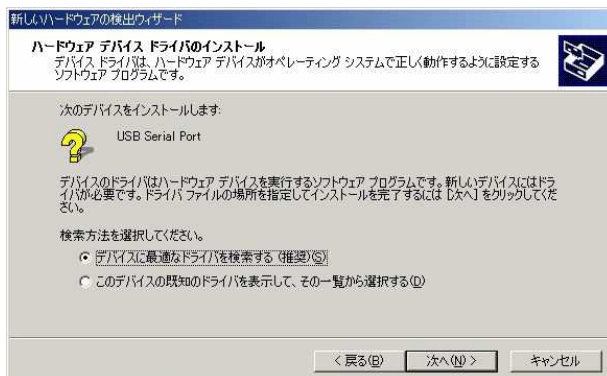


次に、仮想 COM ポートのドライバの組み込みが始まります。



次へ (N) > をクリックします。

次のように表示されましたら、デバイスに最適なドライバを検索する (推奨) (S) を選択し、次へをクリックします。



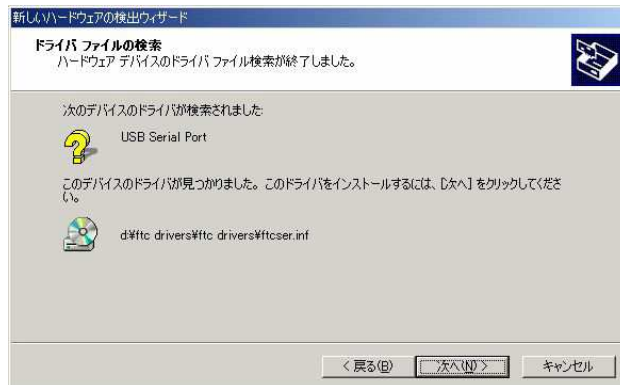
次のように表示されましたら、CD-ROM ドライブを選択します。

(新しいドライバをダウンロードしたときは、ダウンロードして展開した場所を指定してください)

次へ (N) > をクリックします。



次へ (N) > をクリックします。



次へ (N) > をクリックします。

次のように表示されます。



その後、2 つめの仮想 COM ポートドライバのインストールが始まり、自動的に進みます。

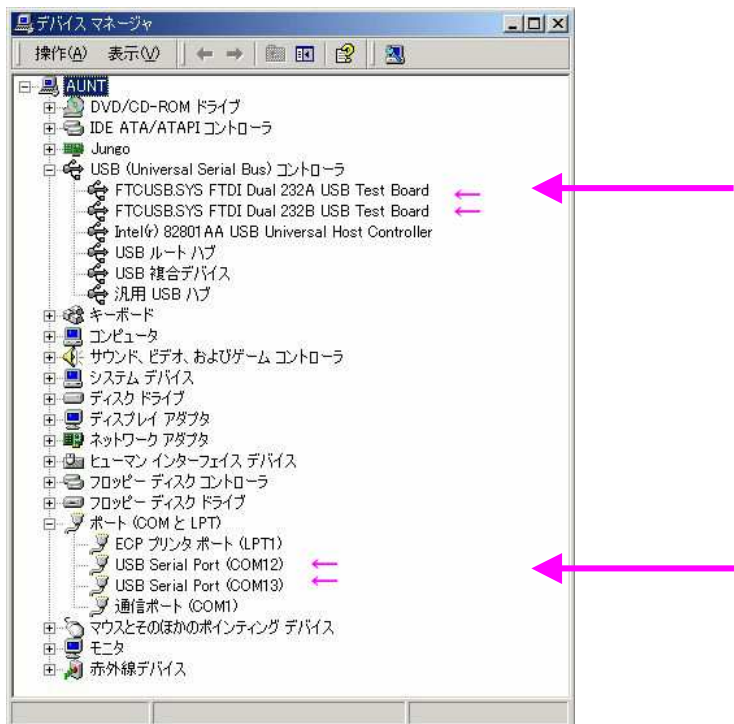


これでドライバの組み込みが完了しました。

デバイスマネージャーで確認すると次のようになっているはずです。

COM ポートの番号は、お客様の環境により異なります。COM ポートの番号を確認するためにも、いちごご確認を御願います。

デバイスマネージャーは、**マイコンピュータのプロパティ**を選択し、**ハードウェアタブ**から**デバイスマネージャーのボタン**をクリックするか、**マイコンピュータの管理**から、**デバイスマネージャー**をクリックするかのいずれかの方法で起動することができます。



通常の、COM ポート同様、ポートの設定を行うこともできます。

新しいドライバが提供されたときは、弊社サイトのサポートページの説明に従ってください。

MAC や Linux のサポートは行っておりませんが、FTDI 社のサイトからダウンロードすることにより、MAC や Linux でも USB-008 をご利用になれるはずです。

<http://www.ftdichip.com/>

をごらんくださいませ。

5. ドライバのアンインストール

ドライバの削除（アンインストール）は、必ず USB-008 を取り外した状態で行ってください。

Windows のアプリケーションの追加と削除を起動します。

FTDI FT2232C USB Drivers を探しだし、変更と削除をクリックします。



次のようなダイアログが表示されたら、Continue をクリックします。



正常に削除できた場合は、下記のダイアログが表示されます。



Finish をクリックして閉じます。

6. 参考資料について

追加資料や参考資料がつけられた場合は

製品サポートページ

http://www.hdl.co.jp/support_c.html

にデータをアップロードすることにいたします。

拡張子 “.exe” のときは、自己解凍ファイルといたします。

ときどきチェックしていただき必要に応じてご利用くださいませ。

パスワードを求められたときは” thanks” を入力していただければ開けます。

7. 付属資料

1. 回路図

USB-008

ユーザーズマニュアル

2004/06/14 初版

2005/05/30 第2版

2006/02/28 第3版

2006/07/10 第3版 (A)

有限会社ヒューマンデータ

〒567-0034

大阪府茨木市中穂積1-2-10

ジブラルタ生命茨木ビル

TEL 072-620-2002

FAX 072-620-2003

URL <http://www.hdl.co.jp/>

Mail spc2@hdl.co.jp
